

志布志市 市民意識アンケート調査  
【調査結果報告書】

令和7年12月

志布志市 総合政策課



～ 目 次 ～

I	調査の概要	1
1	調査の目的	3
2	調査の実施要領	3
3	調査結果利用上の注意	3
II	調査結果総括	5
1	住みやすさについて	7
(1)	住みやすさと市の施策への満足度の関連	7
(2)	市に取り組んでほしいこと	9
2	市政に対する評価	11
(1)	重点項目の満足度の変化	11
(2)	「不満」（「不満」と「やや不満」の合計）の割合の高い重点項目	13
(3)	重点項目の経年比較	14
3	地域幸福度（Well-Being）分析	17
(1)	地域幸福度（Well-Being）指標の概要	17
(2)	地域幸福度（Well-Being）指標による分析結果の概要	19
(3)	主観・客観散布図	26
(4)	主観データ一覧	27
III	個別設問結果	33
1	回答者属性	35
ア	性別	35
イ	年齢	36
ウ	お住いの地区（小学校区）	38
2	暮らしの幸福度・満足度	40
(1)	幸福度	40
(2)	暮らしの満足度	42
(3)	居住地域内の人々の幸福度	44
3	住みやすさ	46
4	身近な人々の気持ち	47
5	地域幸福度	48
ア	暮らしている地域は、医療機関が充実している	48
イ	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	49
ウ	暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない	50
エ	私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している	51
オ	自宅には、心地のいい居場所がある	52
カ	自宅の近辺では、騒音に悩まされている	53
キ	私の暮らしている地域では、適度な費用で住居を確保できる	54
ク	私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	55
ケ	私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	56
コ	私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	57

サ	私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる .....	58
シ	私の暮らしている地域では、教育環境（小中高校）が整っている .....	59
ス	私の暮らしている地域では、通学しやすい場所に学校がある .....	60
セ	暮らしている地域の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う .....	61
ソ	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である .....	62
タ	私の暮らしている地域では、行政サービスのデジタル化が進んでいる .....	63
チ	私の暮らしている地域では、仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい .....	64
ツ	暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい .....	65
テ	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある .....	66
ト	私の暮らしている地域には、自慢できる都市景観がある .....	67
ナ	私の暮らしている地域には、自慢できる自然景観がある .....	68
ニ	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる .....	69
ヌ	暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる .....	70
ネ	私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取り組みが盛んである .....	71
ノ	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている .....	72
ハ	私の暮らしている地域は、防犯対策（交番・街燈・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい .....	73
ヒ	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である .....	74
フ	私は、同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している .....	75
ヘ	私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである .....	76
ホ	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる .....	77
マ	私は、町内（集落）の人が困っていたら手助けをする .....	78
ミ	私は、この町内（集落）に対して愛着を持っている .....	79
ム	この町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある .....	80
メ	私は、見知らぬ他者であっても信頼する .....	81
モ	私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる .....	82
ヤ	私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある .....	83
ユ	私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある .....	84
ヨ	自分のことを好ましく感じる .....	85
ラ	私は、身体的に健康な状態である .....	86
リ	私は、精神的に健康な状態である .....	87
ル	暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい .....	88
レ	将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい .....	89
ロ	私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある .....	90
ワ	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい .....	91
ヲ	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある .....	92
ン	暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある .....	93
6	志布志市の地域環境と暮らしに関する住民意識 .....	94
ア	暮らしている地域は、救急医療機関が充実している .....	94
イ	私の暮らしている地域では、空き家がしっかり管理されている .....	95
ウ	私の暮らしている地域では、車で快適に移動ができる .....	96

エ	私の暮らしている地域には、多くの人に愛される観光施設がある	97
オ	志布志港は発展していて親しみやすい	98
カ	私の暮らしている地域では、ごみの不法投棄がない	99
キ	私の暮らしている地域では、田畑や山林がしっかり管理されている	100
ク	私の暮らしている地域には、外国人や障がい者を含む、どんな人も受け入れる雰囲気がある	101
ケ	私の暮らしている地域は、農林水産業で生活に必要な収入を得ることができる環境がある	102
コ	私の暮らしている地域は、スポーツを楽しむことができる環境にある	103
サ	今の生活の中で時間的なゆとりや余暇時間が十分にある	104
シ	私は、隣近所あるいは地域の人とつながりがある	105
ス	私は、日頃から、ごみの分別などのリサイクルに取り組んでいる	106
7	まちづくりにおける満足度	107
ア	生活道路の整備・維持管理状況	107
イ	公共交通の便利さ	108
ウ	不法投棄防止対策の推進状況	109
エ	防災対策の充実状況（急傾斜地崩壊対策事業、砂防事業、治山・治水事業、危険住宅移転の促進等）	110
オ	空き家等の対策	111
カ	雇用・就労の場の確保への取り組み	112
キ	地域商業の振興	113
ク	医療体制・医療環境の充実状況	114
ケ	緊急医療の充実状況	115
コ	児童福祉・子育て環境の充実状況	116
サ	高齢者福祉の充実状況	117
シ	障がい者福祉の充実状況	118
ス	地域福祉の充実状況	119
セ	小中学校教育の充実	120
ソ	高校教育の充実状況	121
タ	市政への市民の意見の反映	122
8	地域コミュニティ	123
	（1）地域コミュニティ拠点施設の利用頻度	123
	（2）行事・活動への参加状況	124
	（3）活動について満足していること	125
	（4）活動参加や自治会加入の促進のための施策・取組	126
9	多文化共生推進のための取組	128
10	「志布志くらし応援志券」の利用状況	131
	（1）「志布志くらし応援志券」の受取状況	131
	（2）Payどんで受け取った理由	132
	（3）紙商品券を受け取った理由	133
11	にぎわい創出に効果が高いと思われる取組	135
12	幸福度や暮らしやすさのために特に必要な市の取組	137

IV	調査票	141
----	-----	-----



# I 調査の概要



## 1 調査の目的

第2次志布志市総合振興計画後期基本計画の各施策における市民の満足度等について、経年比較を行ったうえで、計画の進行管理の基礎資料とするため本調査を行いました。

平成18年度、平成22年度、平成27年度、令和元年度、令和3年度に引き続き、今回で6回目の調査となっています。

## 2 調査の実施要領

(1) 調査時期	令和7年7月18日～令和7年8月8日
(2) 調査対象者	15歳以上の市民 3,000人無作為抽出
(3) 調査方法	①郵送配布・回収 ②郵送配布・Webフォームを使用したインターネットによる回答
(4) 配布数	3,000件
(5) 有効回収数	852件
(6) 有効回答率	28.4%

## 3 調査結果利用上の注意

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対してそれぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは本報告書内の分析文グラフ表においても同様です。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合回答は選択肢ごとの有効回答数に対してそれぞれの割合を示しています。そのため合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「無回答」とあるものは回答が示されていないまたは回答の判別が困難なものです。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- グラフ中の回答割合についてグラフが繁雑になる場合は省略している場合があります。
- 本文中、図表中、グラフ中にある「前回調査」とは令和3年度実施の「前期基本計画の分析の評価のための住民意識調査」の調査結果を示し、「令和元年度調査」とは令和元年度実施の「第2次志布志市総合振興計画の施策に関する市民意識調査」の調査結果を示します。



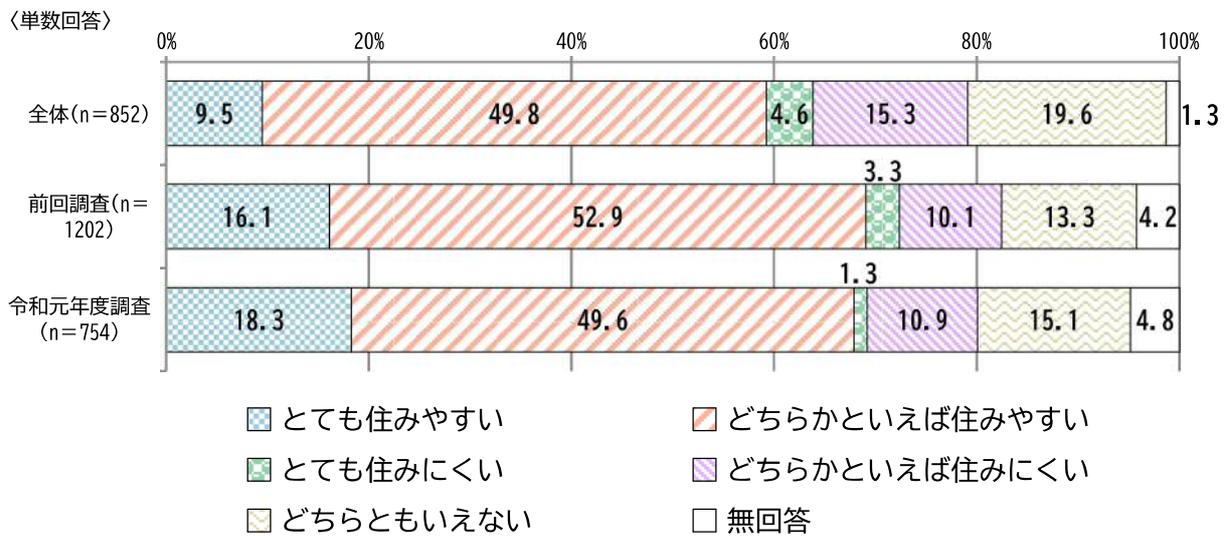
## Ⅱ 調査結果総括



# 1 住みやすさについて

## (1) 住みやすさと市の施策への満足度の関連

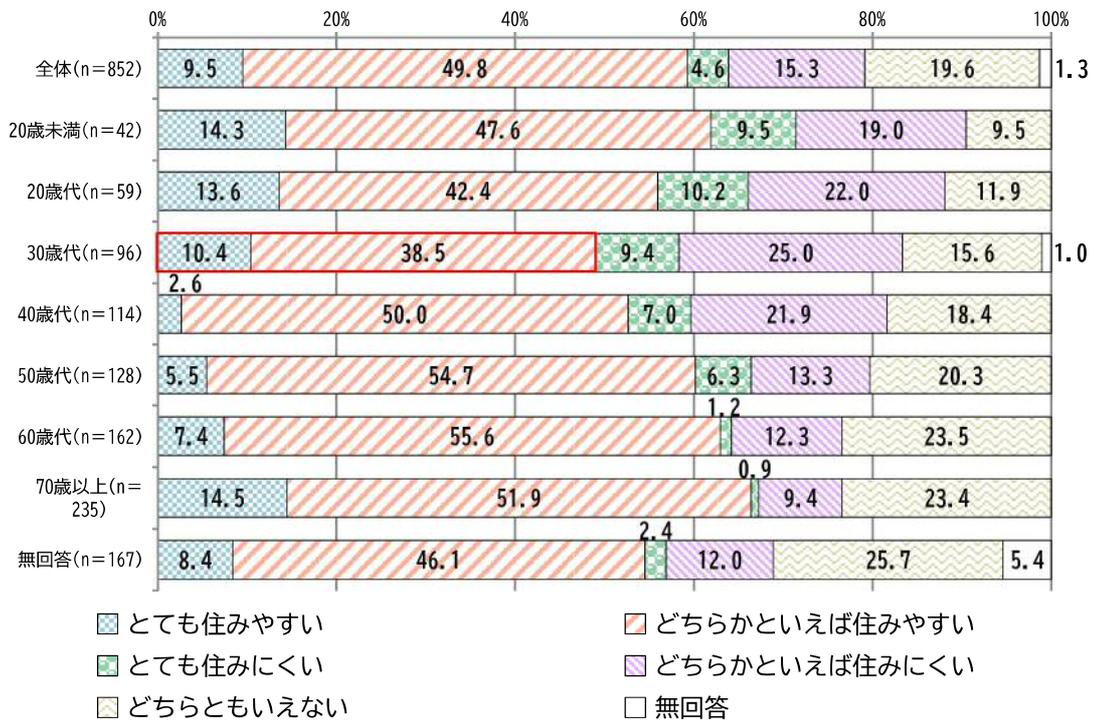
- ・『住みやすい』（「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）と回答した割合は6割程度となり前回調査と比べると9.7ポイント減少しています。
- ・年齢区分別で見ると、30歳代では『住みやすい』と回答した割合が48.9%となり他の年代に比べ低くなっています。
- ・満足度別、地区別にみると、どちらの項目も「医療・福祉に関する環境の充実」の割合が最も高く、次いで「買物・飲食に関する環境の充実」、「移動・交通に関する環境の充実」の割合が高くなっています。



■年齢区分別

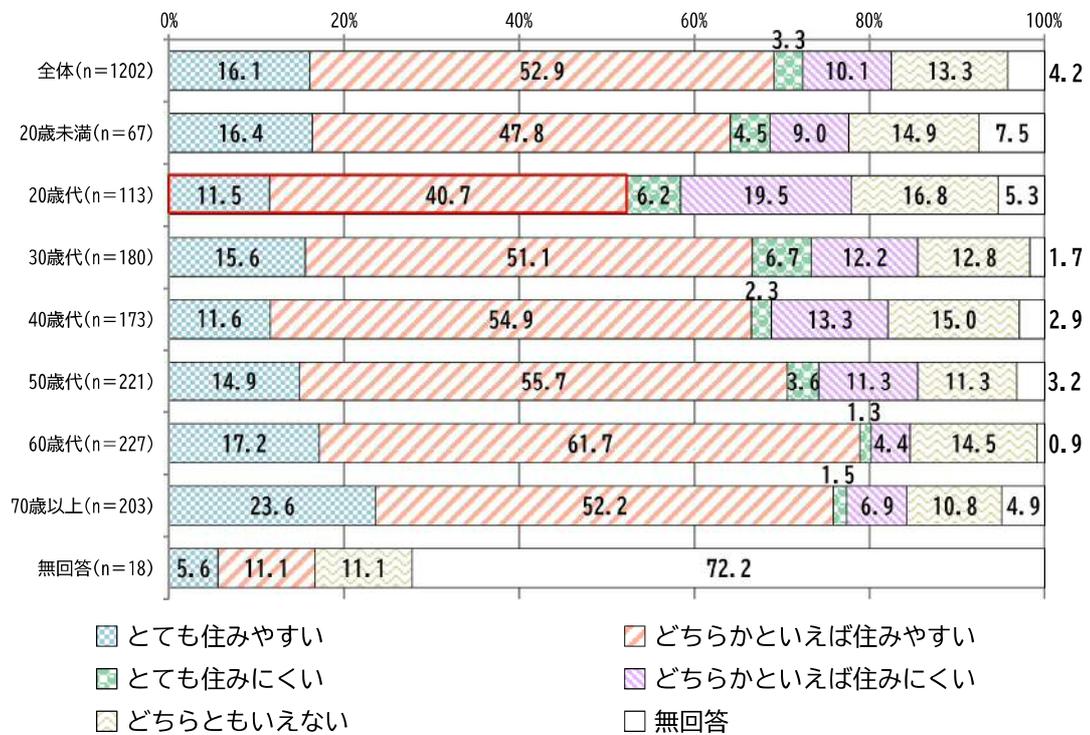
今回

〈単数回答〉



前回調査

〈単数回答〉



## (2) 市に取り組んでほしいこと

- ・全体では、「医療・福祉に関する環境の充実（医療機関、介護・福祉施設の充実等）」の割合が最も高く、次いで、「買物・飲食に関する環境の充実（買物支援、飲食施設の充実等）」、「移動・交通に関する環境の充実（道路網の整備、公共交通の利便性の確保等）」の割合が高くなっています。
- ・特に、「医療・福祉に関する環境の充実（医療機関、介護・福祉施設の充実等）」は68.7%となっており、2位以下と比較して15ポイント以上上回っています。
- ・満足度別、地区別にみると、どちらの項目もすべての区分で「医療・福祉に関する環境の充実（医療機関、介護・福祉施設の充実等）」の割合が最も高く、次いで、「買物・飲食に関する環境の充実（買物支援、飲食施設の充実等）」、「移動・交通に関する環境の充実（道路網の整備、公共交通の利便性の確保等）」の割合が高くなっています。
- ・住みやすさに関する回答別でみると、1～3位の順番は全体と同じであるものの、2位「買物・飲食に関する環境の充実」と3位「移動・交通に関する環境の充実」で、どちらでもないと住みにくい層が住みやすい層を7～10ポイント程度上回っています。
- ・また、「遊び・娯楽に関する環境の充実」が住みにくい層で34.9%と、ほかの層と比較して12ポイント程度高くなっています。

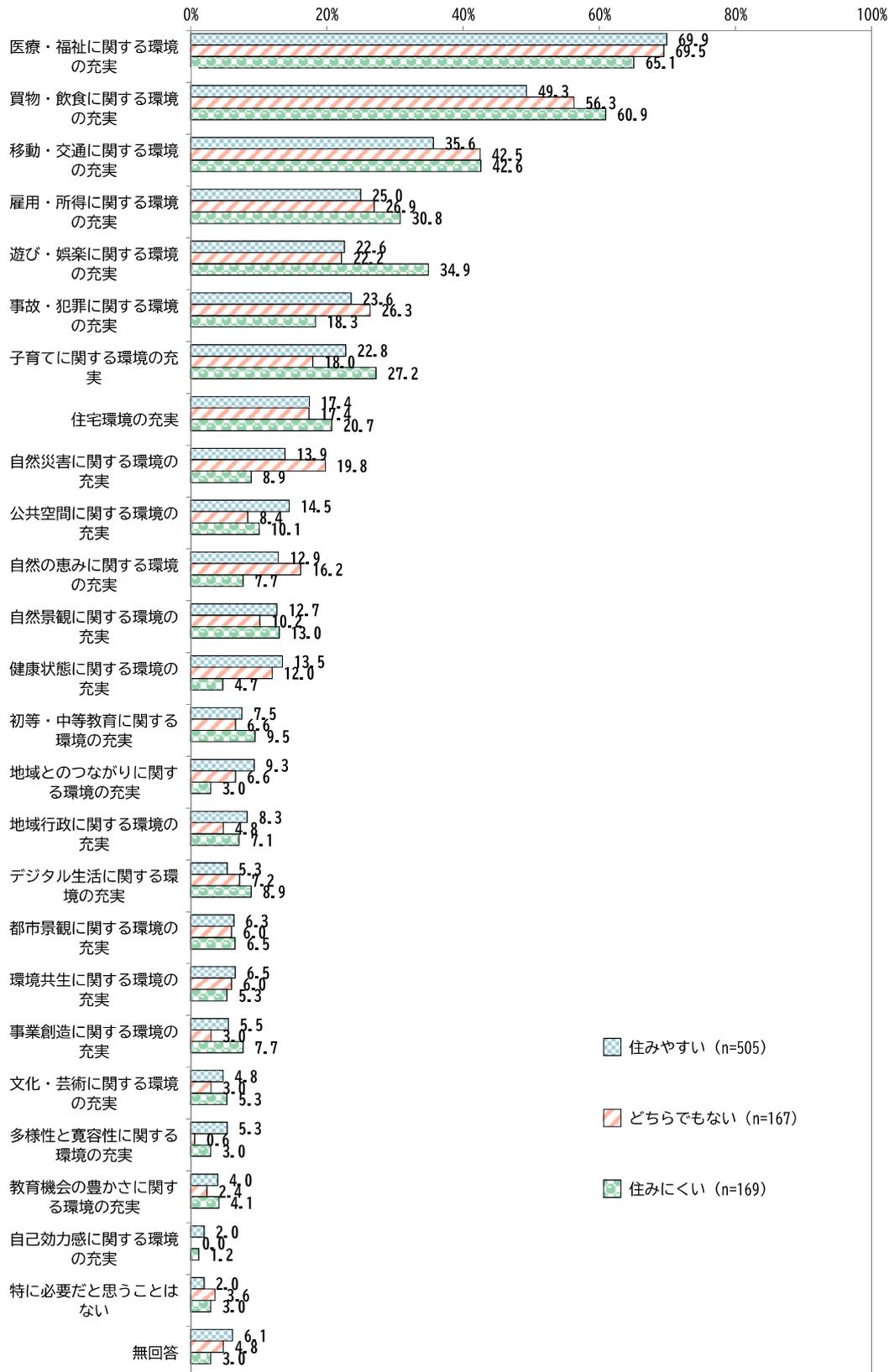
### ■満足度別

		1位	2位	3位
全 体(n=852)		医療・福祉に関する環境の充実 68.7%	買物・飲食に関する環境の充実 52.8%	移動・交通に関する環境の充実 38.0%
満足度別	満足 (n=191)	医療・福祉に関する環境の充実 67.0%	買物・飲食に関する環境の充実 50.8%	移動・交通に関する環境の充実 35.6%
		医療・福祉に関する環境の充実 70.7%	買物・飲食に関する環境の充実 50.2%	移動・交通に関する環境の充実 38.4%
	ふつう (n=474)	医療・福祉に関する環境の充実 64.7%	買物・飲食に関する環境の充実 62.4%	移動・交通に関する環境の充実 41.6%
		医療・福祉に関する環境の充実 64.7%	買物・飲食に関する環境の充実 62.4%	移動・交通に関する環境の充実 41.6%

### ■地区別

		1位	2位	3位
全 体(n=852)		医療・福祉に関する環境の充実 68.7%	買物・飲食に関する環境の充実 52.8%	移動・交通に関する環境の充実 38.0%
地区別	松山 (n=110)	医療・福祉に関する環境の充実 67.3%	買物・飲食に関する環境の充実 49.1%	移動・交通に関する環境の充実 40.9%
		医療・福祉に関する環境の充実 72.0%	買物・飲食に関する環境の充実 49.1%	移動・交通に関する環境の充実 39.3%
	有明 (n=275)	医療・福祉に関する環境の充実 67.7%	買物・飲食に関する環境の充実 56.4%	移動・交通に関する環境の充実 37.5%
		医療・福祉に関する環境の充実 67.7%	買物・飲食に関する環境の充実 56.4%	移動・交通に関する環境の充実 37.5%

## ■住みやすさ回答別



## 2 市政に対する評価

### (1) 重点項目の満足度の変化

- 令和3年度市民意識調査で「満足度が低く」「重要度が高かった」16項目について、今回の調査結果における満足度を年代別・地区別で表にしました。
- ・全体では、「生活道路の整備・維持管理状況」の割合が最も高く、次いで「小中学校教育の充実」、「防災対策の充実状況」の割合が高くなっています。
- ・特に、「生活道路の整備・維持管理状況」は40.3%となっており、2位以下と比較して17ポイント以上上回っています。
- ・20歳代～70歳以上では、「生活道路の整備・維持管理状況」の割合が最も高くなっています。20歳未満では「小中学校教育の充実」や「児童福祉・子育て環境の充実状況」の割合が高くなっています。
- ・すべての地区で「生活道路の整備・維持管理状況」の割合が最も高くなっています。
- ・松山地区では「高齢者福祉の充実状況」が2位、有明地区では「児童福祉・子育て環境の充実状況」が3位と、全体の1～3位に入っていない項目が上位3位以内となっています。

#### ■年代別

		1位	2位	3位
全	体(n=852)	生活道路の整備・維持管理状況	小中学校教育の充実	防災対策の充実状況
		40.3%	22.7%	20.1%
年代別	20歳未満 (n=42)	小中学校教育の充実	生活道路の整備・維持管理状況	児童福祉・子育て環境の充実状況
		40.5%	35.7%	31.0%
	20歳代 (n=59)	生活道路の整備・維持管理状況	児童福祉・子育て環境の充実状況	小中学校教育の充実
		40.7%	25.4% (同率2位)	25.4% (同率2位)
	30歳代 (n=96)	生活道路の整備・維持管理状況	防災対策の充実状況	小中学校教育の充実
		39.6%	27.1%	26.0%
	40歳代 (n=114)	生活道路の整備・維持管理状況	児童福祉・子育て環境の充実状況	小中学校教育の充実
		37.7%	20.2% (同率2位)	20.2% (同率2位)
	50歳代 (n=128)	生活道路の整備・維持管理状況	小中学校教育の充実	児童福祉・子育て環境の充実状況
		41.4%	24.2%	18.8%
	60歳代 (n=162)	生活道路の整備・維持管理状況	防災対策の充実状況	児童福祉・子育て環境の充実状況
		37.0%	15.4%	14.8%
	70歳以上 (n=235)	生活道路の整備・維持管理状況	小中学校教育の充実	防災対策の充実状況/緊急医療の充実状況
		45.1%	24.7%	23.0% (同率3位)

※  は全体1位、 は同2位、 は同3位

■地区別

		1位	2位	3位
全	体(n=852)	生活道路の整備・維持管理状況	小中学校教育の充実	防災対策の充実状況
		40.3%	22.7%	20.1%
地区別	松山 (n=110)	生活道路の整備・維持管理状況	高齢者福祉の充実状況	防災対策の充実状況
		39.1%	26.4%	23.6%
	有明 (n=275)	生活道路の整備・維持管理状況	小中学校教育の充実	児童福祉・子育て環境の充実状況
		32.4%	23.3%	15.6%
	志布志 (n=440)	生活道路の整備・維持管理状況	防災対策の充実状況	小中学校教育の充実
		46.4%	23.2%	22.7%

※  は全体1位、 は同2位、 は同3位

## (2) 「不満」(「不満」と「やや不満」の合計)の割合の高い重点項目

- ・全体では、「公共交通の便利さ」の割合が最も高く、次いで「医療体制・医療環境の充実状況」、「緊急医療の充実状況」の割合が高くなっています。
- ・50歳代では「医療体制・医療環境の充実状況」の割合が最も高くなっています。
- ・有明地区では、「公共交通の便利さ」の割合が最も高くなっています。
- ・70歳以上では「空き家等の対策」が40.4%で2位となっています。
- ・すべての地区で、「公共交通の便利さ」、「医療体制・医療環境の充実状況」、「緊急医療の充実状況」の3項目が上位3区分となっています。
- ・松山地区では「医療体制・医療環境の充実状況」が60.0%（同率1位）と他の地区と比較して10ポイント程度上回り、「緊急医療の充実状況」が56.4%と7～11ポイント上回っています。

### ■年代別

		1位	2位	3位
全 体(n=852)		公共交通の便利さ 57.3%	医療体制・医療環境の充実状況 50.6%	緊急医療の充実状況 48.2%
年 代 別	20歳未満 (n=42)	公共交通の便利さ 59.5% (同率1位)	緊急医療の充実状況 59.5% (同率1位)	医療体制・医療環境の充実状況 52.4%
		公共交通の便利さ 50.9%	医療体制・医療環境の充実状況 44.1%	緊急医療の充実状況 37.3%
	20歳代 (n=59)	公共交通の便利さ 64.6%	緊急医療の充実状況 61.5%	医療体制・医療環境の充実状況 59.4%
		公共交通の便利さ 65.8%	医療体制・医療環境の充実状況 58.8% (同率2位)	緊急医療の充実状況 58.8% (同率2位)
	30歳代 (n=96)	医療体制・医療環境の充実状況 67.2%	緊急医療の充実状況 65.6%	公共交通の便利さ 58.6%
		公共交通の便利さ 59.9%	医療体制・医療環境の充実状況 51.2%	緊急医療の充実状況 49.4%
	40歳代 (n=114)	公共交通の便利さ 50.2%	空き家等の対策 40.4%	医療体制・医療環境の充実状況 36.2%
		公共交通の便利さ		
	50歳代 (n=128)	公共交通の便利さ		
		公共交通の便利さ		
	60歳代 (n=162)	公共交通の便利さ		
		公共交通の便利さ		
	70歳以上 (n=235)	公共交通の便利さ		
		公共交通の便利さ		

※  は全体1位、 は同2位、 は同3位

### ■地区別

		1位	2位	3位
全 体(n=852)		公共交通の便利さ 57.3%	医療体制・医療環境の充実状況 50.6%	緊急医療の充実状況 48.2%
地 区 別	松山 (n=110)	公共交通の便利さ 60.0% (同率1位)	医療体制・医療環境の充実状況 60.0% (同率1位)	緊急医療の充実状況 56.4%
		公共交通の便利さ 60.0%	医療体制・医療環境の充実状況 49.5%	緊急医療の充実状況 45.1%
	有明 (n=275)	公共交通の便利さ 55.0%	医療体制・医療環境の充実状況 49.3%	緊急医療の充実状況 49.1%
		公共交通の便利さ		
	志布志 (n=440)	公共交通の便利さ		
		公共交通の便利さ		

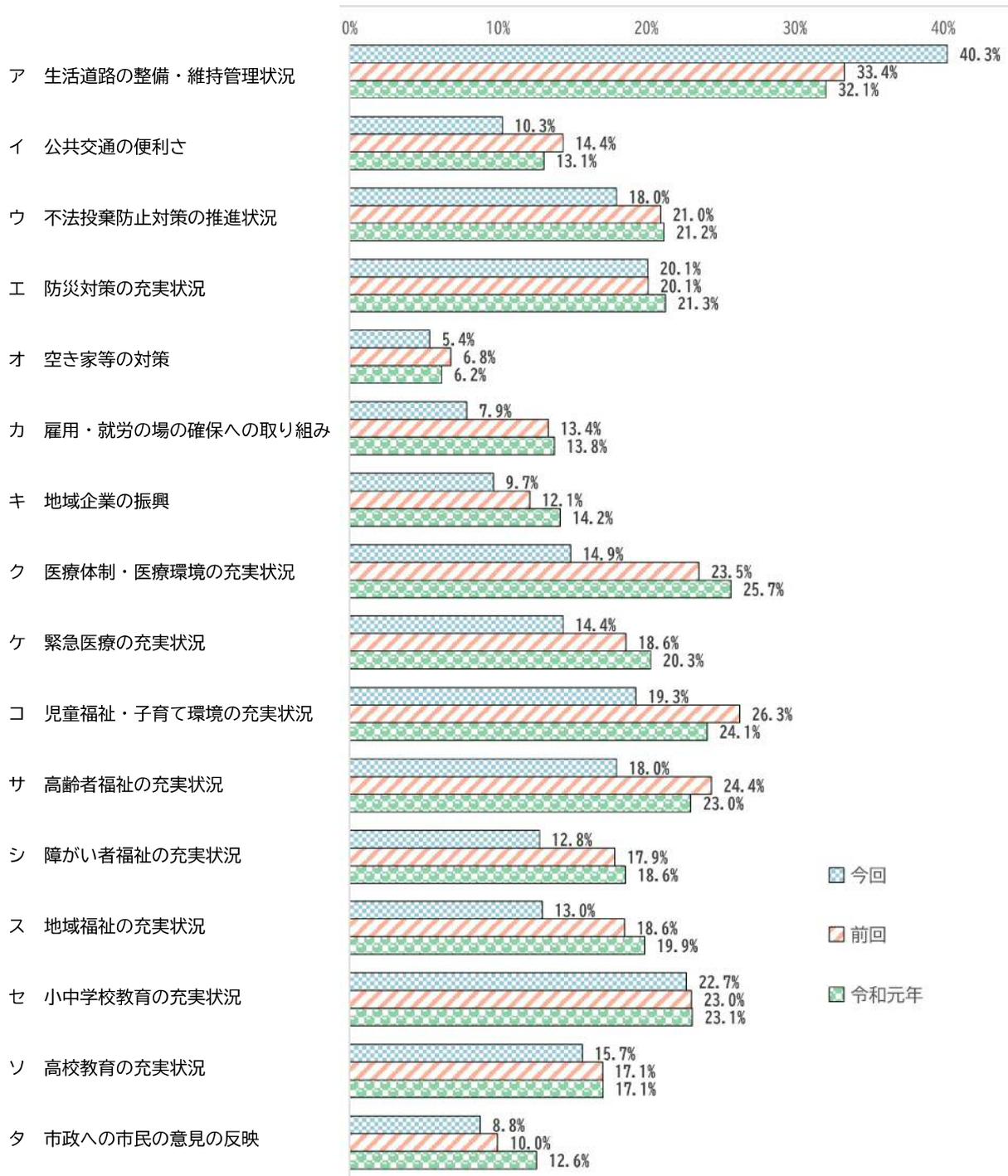
※  は全体1位、 は同2位、 は同3位

### (3) 重点項目の経年比較

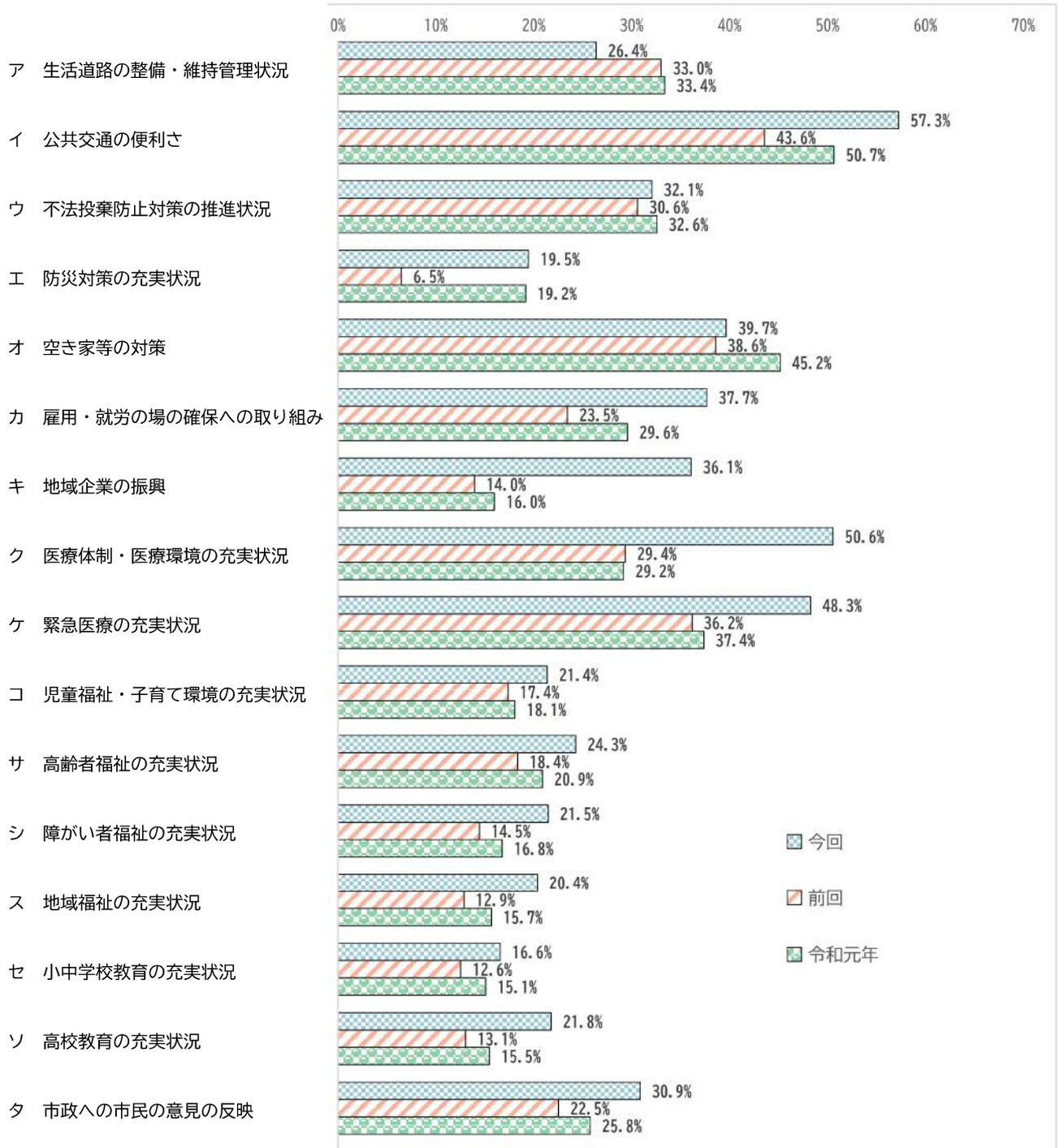
- ・ 前回調査の令和3年度調査と比較すると『満足+やや満足』が3ポイント以上増加した項目が1項目、3ポイント以上減少した項目が9項目、『やや不満+不満』が3ポイント以上増加した項目が13項目、3ポイント以上減少した項目が1項目となっています。
- ・ 『満足+やや満足』の増加量についてみると「生活道路の整備・維持管理状況」が令和3年と比較して6.9ポイント増加しています。
- ・ 『やや不満+不満』の増加量についてみると「地域企業の振興」が22.1ポイント、「医療体制・医療環境の充実状況」が21.2ポイントと大きく増加しています。また、「雇用・就労の場の確保への取り組み」が14.2ポイント増加（増加量3位）、「緊急医療の充実状況」が12.1ポイント増加（増加量6位）となっており、医療や企業・雇用分野の不満が増加している傾向が見られます。

項目	満足+やや満足				やや不満+不満			
	令和元年	前回	今回	変化	令和元年	前回	今回	変化
ア 生活道路の整備・維持管理状況	32.1%	33.4%	40.3%	↗ 6.9ポイント	33.4%	33.0%	26.4%	↘ -6.6ポイント
イ 公共交通の利便さ	13.1%	14.4%	10.3%	↘ -4.1ポイント	50.7%	43.6%	57.3%	↗ 13.7ポイント
ウ 不法投棄防止対策の推進状況	21.2%	21.0%	18.0%	↘ -3.0ポイント	32.6%	30.6%	32.1%	↗ 1.5ポイント
エ 防災対策の充実状況	21.3%	20.1%	20.1%	→ ±0ポイント	19.2%	6.5%	19.5%	↗ 13.0ポイント
オ 空き家等の対策	6.2%	6.8%	5.4%	↘ -1.4ポイント	45.2%	38.6%	39.7%	↗ 1.1ポイント
カ 雇用・就労の場の確保への取り組み	13.8%	13.4%	7.9%	↘ -5.5ポイント	29.6%	23.5%	37.7%	↗ 14.2ポイント
キ 地域企業の振興	14.2%	12.1%	9.7%	↘ -2.4ポイント	16.0%	14.0%	36.1%	↗ 22.1ポイント
ク 医療体制・医療環境の充実状況	25.7%	23.5%	14.9%	↘ -8.6ポイント	29.2%	29.4%	50.6%	↗ 21.2ポイント
ケ 緊急医療の充実状況	20.3%	18.6%	14.4%	↘ -4.2ポイント	37.4%	36.2%	48.3%	↗ 12.1ポイント
コ 児童福祉・子育て環境の充実状況	24.1%	26.3%	19.3%	↘ -7.0ポイント	18.1%	17.4%	21.4%	↗ 4.0ポイント
サ 高齢者福祉の充実状況	23.0%	24.4%	18.0%	↘ -6.4ポイント	20.9%	18.4%	24.3%	↗ 5.9ポイント
シ 障がい者福祉の充実状況	18.6%	17.9%	12.8%	↘ -5.1ポイント	16.8%	14.5%	21.5%	↗ 7.0ポイント
ス 地域福祉の充実状況	19.9%	18.6%	13.0%	↘ -5.6ポイント	15.7%	12.9%	20.4%	↗ 7.5ポイント
セ 小中学校教育の充実状況	23.1%	23.0%	22.7%	↘ -0.3ポイント	15.1%	12.6%	16.6%	↗ 4.0ポイント
ソ 高校教育の充実状況	17.1%	17.1%	15.7%	↘ -1.4ポイント	15.5%	13.1%	21.8%	↗ 8.7ポイント
タ 市政への市民の意見の反映	12.6%	10.0%	8.8%	↘ -1.2ポイント	25.8%	22.5%	30.9%	↗ 8.4ポイント

■満足+やや満足



やや不満＋不満



### 3 地域幸福度（Well-Being）分析

国は、「心ゆたかな暮らし」（Well-Being）と「持続可能な環境・社会・経済」（Sustainability）を実現していく「デジタル田園都市国家構想」を掲げています。

デジタル田園都市国家構想が目指すのは、地域の豊かさをそのままに、都市と同じ又は違った利便性と魅力を備えた、魅力溢れる新たな地域づくりです。

そうした中、地域の Well-Being の向上にあたり、価値観や目的をすり合わせ、それぞれの取組の円滑な連携を図るものとして、「地域幸福度（Well-Being）指標」が「一般社団法人スマートシティ・インスティテュート」により作成・開発されました。

「地域幸福度（Well-Being）指標」は、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感（Well-being）」を数値化・可視化したものであり、デジタル庁ホームページにおいてデータが公開されています。

志布志市における施策検討の参考とするため、「地域幸福度（Well-Being）指標」を活用した生活環境に係る現状分析を行いました。

#### 【本調査における導入理由】

地域幸福度（Well-Being）指標は、Well-Being 指標に関する全国アンケート調査からの主観データとオープンデータによる客観データから構成されており、志布志市の結果と比較することで、全国の中での志布志市の立ち位置が相対的にあらわされ、本市の課題や取り組むべき事項が明確化されます。

#### （1）地域幸福度（Well-Being）指標の概要

地域幸福度（Well-Being）指標は、以下の6つを目的に開発・導入されました。

1. スマートシティ・まちづくりにおける「人間中心主義」を明確化
2. 市民の視点から「暮らしやすさ」と「幸福感（Well-being）」を数値化・可視化
3. ランキングではなく、自治体が「個性を磨く」機会を創出
4. WHO等の国際的な枠組みを導入
5. 客観と主観データの両方を活用。無料でオープン化
6. まちづくりのEBPM・ワイズスペンディングに役立てる

（出典）デジタル庁・一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「地域幸福度（Well-Being）指標利活用ガイドブック Ver.2024-03」

※EBPM…Evidence-Based Policy Makingの略で、エビデンスに基づく政策立案  
※ワイズスペンディング…効果的・効率的な支出

地域幸福度（Well-Being）指標は、主観指標（アンケートによる主観データ）と客観指標（オープンデータによる客観データ）から成り立っています。

また、地域における幸福度・生活満足度を計る4つの設問と、3つの因子群（生活環境、地域の間人関係、自分らしい生き方）から構成されており、因子群は合計24のカテゴリーに細分化されています。

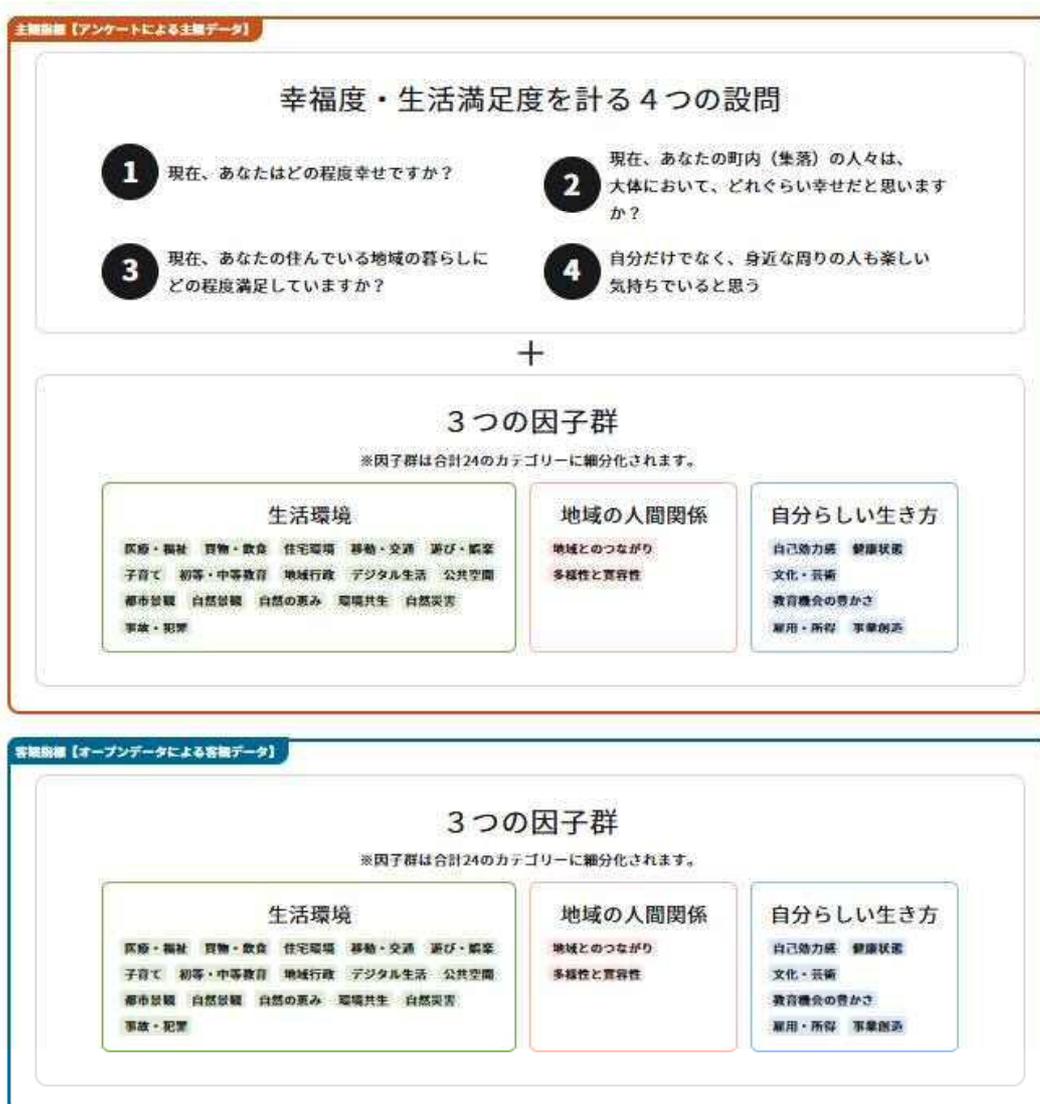
そして、偏差値化された主観指標及び客観指標を用いることで、項目間の比較を可能としています。

※志布志市においては、主観指標（アンケートによる主観データ）を得るため、令和7年7～8月に「志布志市民意識アンケート調査」（以下、「市民アンケート調査」）を実施

※主観指標は、人口10万人以上かつ回答数100以上の自治体の数値をベースとした偏差値を算出し、人口10万人未満または回答数100未満については、人口10万人以上かつ回答数100以上の自治体の平均値と標準偏差を適用して偏差値を算出

※客観指標は、人口10万人以上の自治体の数値をベースとした偏差値を算出し、人口10万人未満の自治体については、人口10万人以上の自治体の平均値と標準偏差を適用して偏差値を算出。数値の高い方が悪い状態を表す指標については、数値が高いほど偏差値が低くなるように修正が行われている

## 地域幸福度（Well-Being）指標の構成

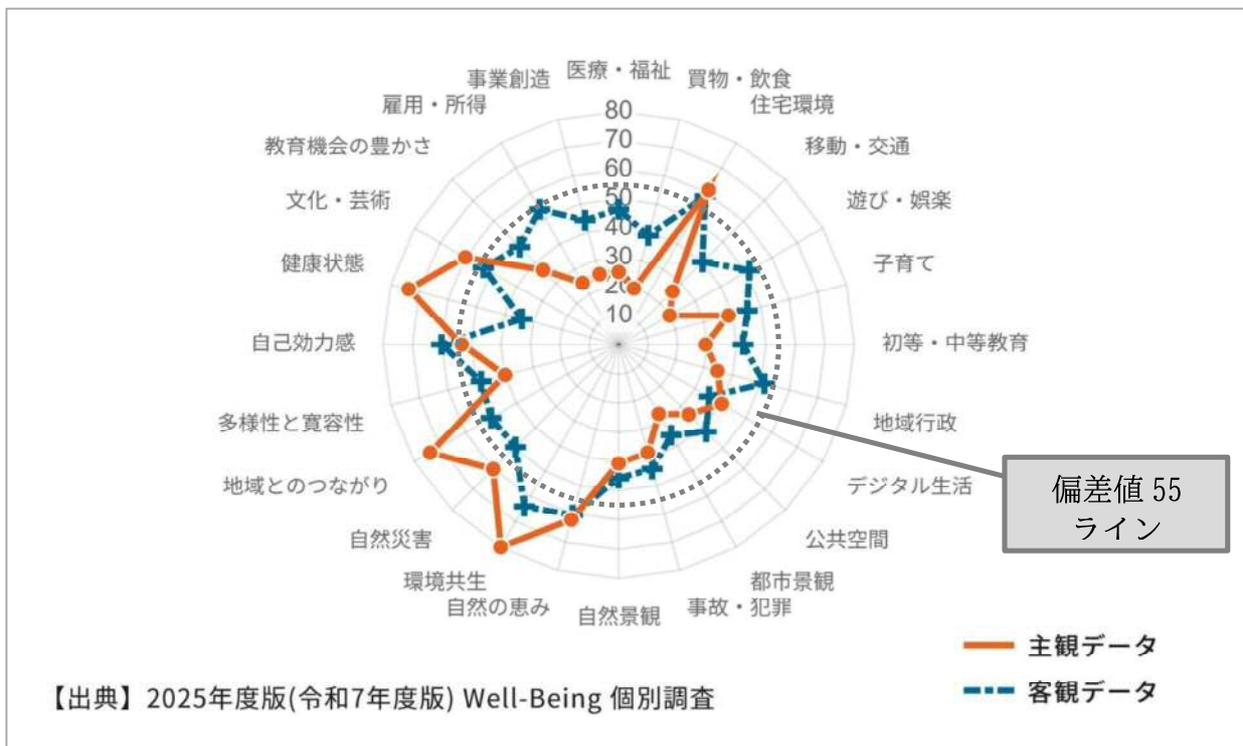


※デジタル庁ホームページ (<https://well-being.digital.go.jp>) より

## (2) 地域幸福度 (Well-Being) 指標による分析結果の概要

- ・志布志市においては、「主観データの評価が比較的低い (偏差値 45 以下)」カテゴリーは 14 項目となっています。
- ・また、「主観データ及び客観データのいずれにおいても比較的評価が高い (偏差値 55 以上)」カテゴリーとして、「住宅環境」「環境共生」が該当しており、これらの分野は志布志市の強みであると考えられます。
- ・「客観データの評価が比較的低い (偏差値 45 以下)」カテゴリーとして、「健康状態」が該当していますが、主観データの評価が平均以上を示しており、市民にとって弱みとは感じていない状況にあります。

カテゴリー別レーダーチャート



偏差値	医療・福祉	買物・飲食	住宅環境	移動・交通	遊び・娯楽	子育て	初等・中等教育	地域行政
主観データ	25.0	20.0	61.1	25.9	20.0	38.6	29.5	34.7
客観データ	46.4	38.8	58.7	40.2	51.2	45.2	42.2	51.2

偏差値	デジタル生活	公共空間	都市景観	事故・犯罪	自然景観	自然の恵み	環境共生	自然災害
主観データ	40.4	33.7	27.3	38.2	40.6	62.1	80.0	60.2
客観データ	35.5	42.0	35.7	44.0	45.7	60.5	64.0	49.5

偏差値	地域とのつながり	多様性と寛容性	自己効力感	健康状態	文化・芸術	教育機会の豊かさ	雇用・所得	事業創造
主観データ	73.9	39.9	53.2	73.8	60.1	36.3	24.5	25.1
客観データ	50.0	48.3	60.1	34.0	53.0	47.5	53.6	44.2

※一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「地域幸福度 (Well-Being) 指標」

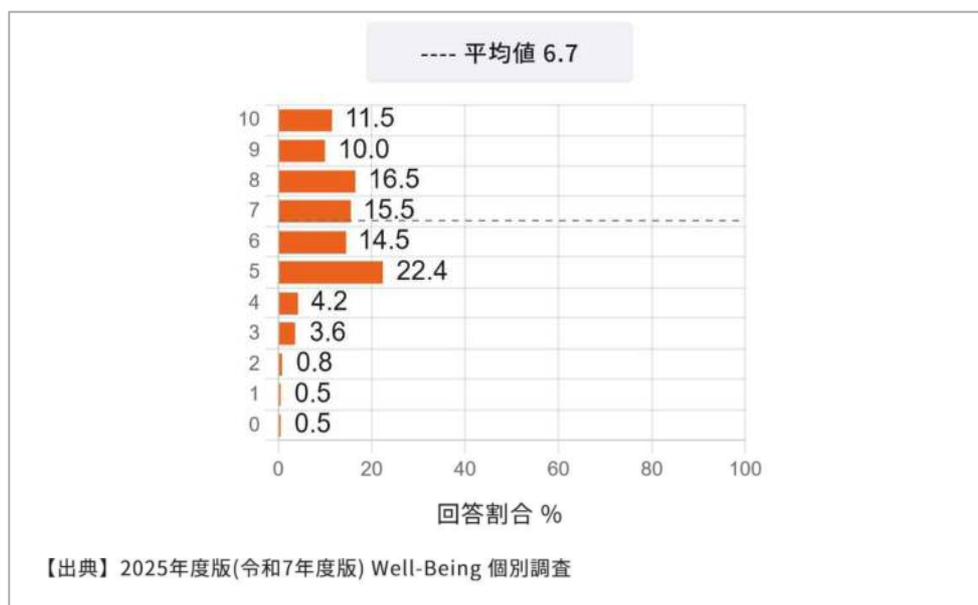
(公開先: デジタル庁 <https://well-being.digital.go.jp>) より

※数値の最小値は 20、最大値は 80 に設定

## ① 幸福度・生活満足度

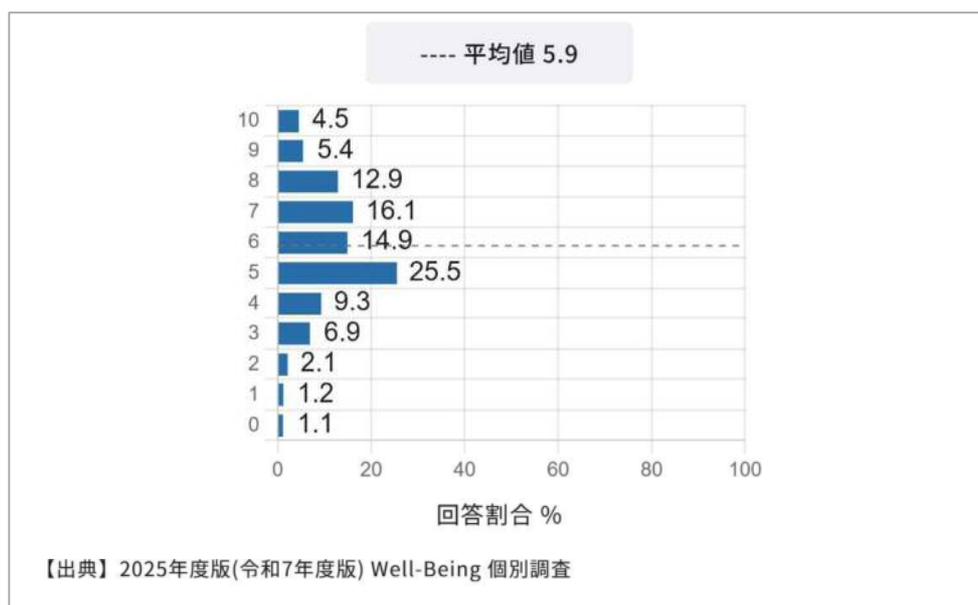
- ・市民アンケート調査結果について、「現在の幸福度（10点満点）」の回答者平均は6.7点（2025時点）となっており、全国調査の6.5点と同程度の水準となっています。
- ・また、「生活満足度（10点満点）」の回答者平均は5.9点となっており、全国調査の6.6点（2025年時点）と比較してやや低くなっています。

### 「現在の幸福度」調査結果



※志布志市「志布志市市民意識アンケート調査」より設問「現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになるとお考えですか。」の回答結果

### 「生活満足度」調査結果

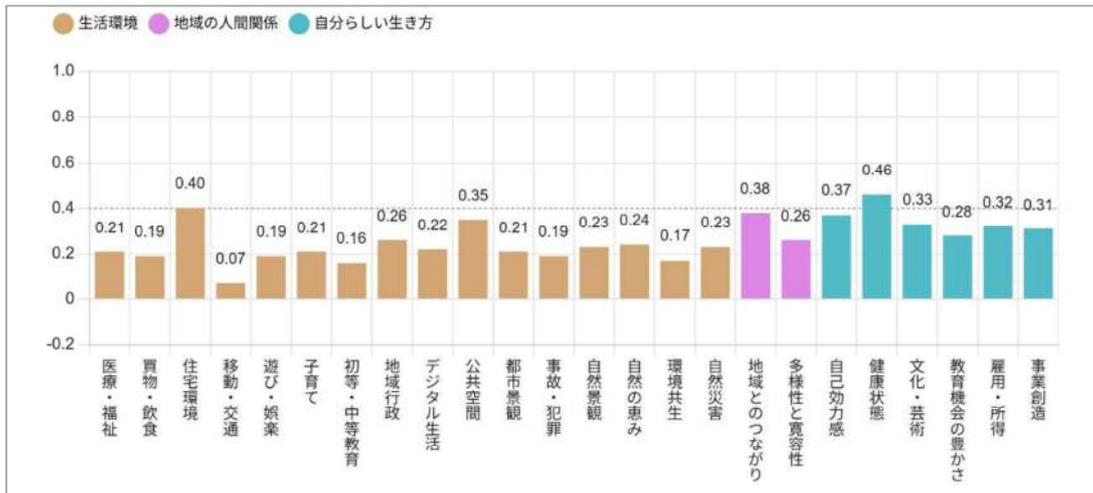


※志布志市「志布志市市民意識アンケート調査」より設問「現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点とすると、何点くらいになるとお考えですか。」の回答結果

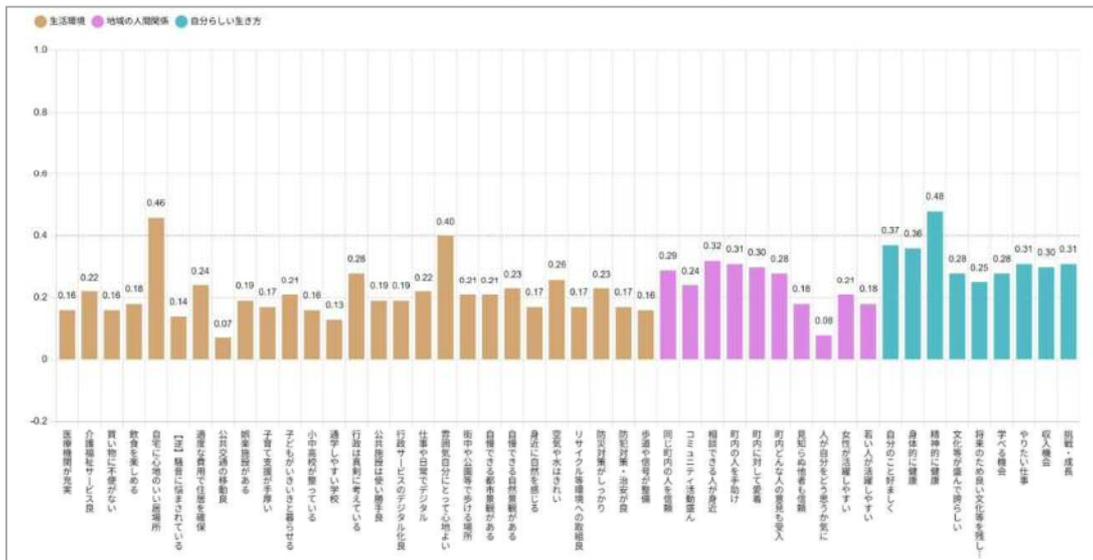
## ② 幸福度・生活満足度と各カテゴリー等との相関関係

- ・「現在の幸福度」と各カテゴリーの相関をみると、「住宅環境」「健康状態」との相関係数が「相関が強い」とされる 0.4 を上回っており、この2つのカテゴリーの評価を高めることなどが、幸福度の向上につながると考えられます。
- ・具体的には、「自宅には、心地のいい居場所がある」「暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい」「私は、精神的に健康な状態である」との「相関が強い」ことから、これらの状態にある市民を増やす施策に取り組むことが幸福度の向上に特につながると考えられます。
- ・一方、「生活満足度」と各カテゴリーの相関をみると、「医療・福祉」「買い物・飲食」「地域行政」「公共空間」「地域とのつながり」「多様性と寛容性」「雇用・取得」「事業創造」との相関係数が「相関が強い」とされる 0.4 を上回っており、この8つのカテゴリーの評価を高めることなどが、生活満足度の向上につながると考えられます。
- ・具体的には、「暮らしている地域の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う」「暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい」「同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している」「暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」「私は、この町内（集落）に対して愛着を持っている」「この町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」「私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある」「私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある」との「相関が強い」ことから、これらの状態にある市民を増やす施策に取り組むことが生活満足度の向上に特につながると考えられます。

## 「現在の幸福度」と各カテゴリー（因子）の相関関係



## 「現在の幸福度」と各指標の相関関係



※一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「地域幸福度（Well-Being）指標」（公開先：デジタル庁 <https://well-being.digital.go.jp>）より

## 生活環境

医療機関が充実	0.16	子育て支援が手厚い	0.17	街中や公園等で歩ける場所	0.21
介護福祉サービス良	0.22	子どもがいきいきと暮らせる	0.21	自慢できる都市景観がある	0.21
買い物に不便がない	0.16	小中高校が整っている	0.16	自慢できる自然景観がある	0.23
飲食を楽しめる	0.18	通学しやすい学校	0.13	身近に自然を感じる	0.17
自宅に心地のいい居場所	0.46	行政は真剣に考えている	0.28	空気や水はきれい	0.26
【逆】騒音に悩まされている	0.14	公共施設は使い勝手良	0.19	リサイクル等環境への取組良	0.17
適度な費用で住居を確保	0.24	行政サービスのデジタル化良	0.19	防災対策がしっかり	0.23
公共交通の移動良	0.07	仕事や日常でデジタル	0.22	防犯対策・治安が良	0.17
娯楽施設がある	0.19	雰囲気自分にとって心地よい	0.40	歩道や信号が整備	0.18
					0.16

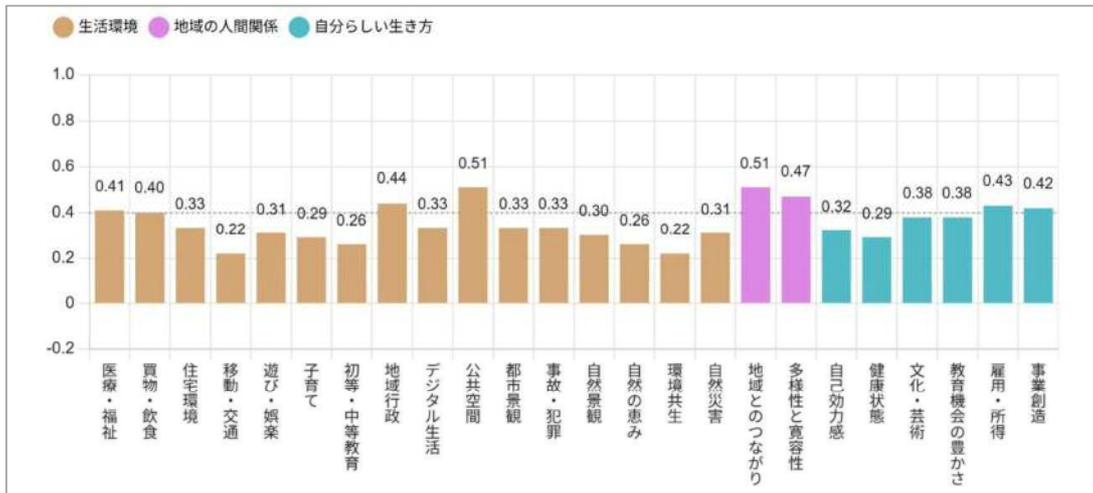
## 地域の人間関係

同じ町内の人を信頼	0.29	町内に対して愛着	0.30	女性が活躍しやすい	0.21
コミュニティ活動盛ん	0.24	町内どんな人の意見も受入	0.28	若い人が活躍しやすい	0.18
相談できる人が身近	0.32	見知らぬ他者も信頼	0.18		
町内の人を手助け	0.31	人が自分をどう思うか気に	0.08		

## 自分らしい生き方

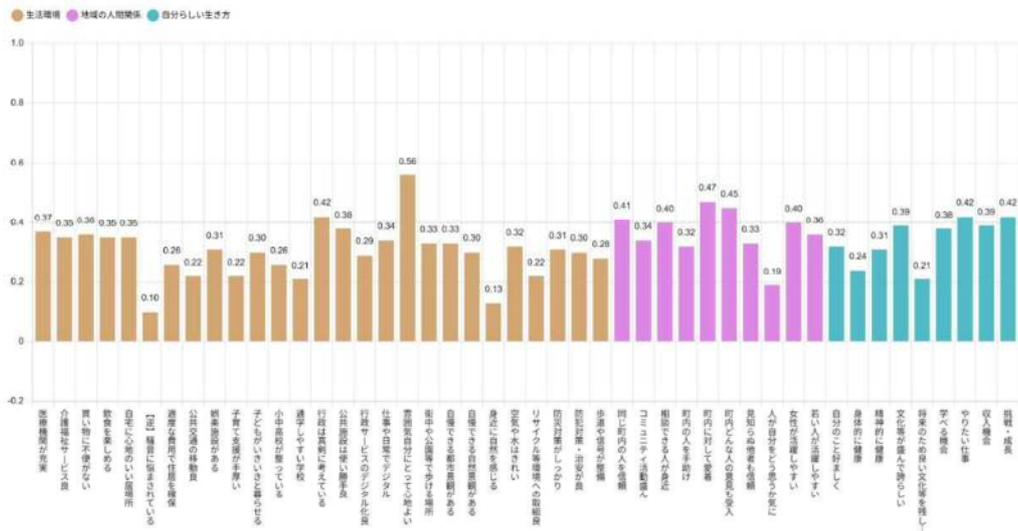
自分のこと好ましく	0.37	文化等が盛んで誇らしい	0.28	やりたい仕事	0.31
身体的に健康	0.36	将来のため良い文化等を残し・・・	0.25	収入機会	0.30
精神的に健康	0.48	学べる機会	0.28	挑戦・成長	0.31

## 「生活満足度」と各カテゴリー（因子）の相関関係



## 「生活満足度」と各指標の相関関係

### Bパターン



※一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「地域幸福度（Well-Being）指標」（公開先：デジタル庁 <https://well-being.digital.go.jp>）より

## 生活環境

医療機関が充実	0.37	子育て支援が手厚い	0.22	街中や公園等で歩ける場所	0.33
介護福祉サービス良	0.35	子どもがいきいきと暮らせる	0.30	自慢できる都市景観がある	0.33
買い物に不便がない	0.36	小中高校が整っている	0.26	自慢できる自然景観がある	0.30
飲食を楽しめる	0.35	通学しやすい学校	0.21	身近に自然を感じる	0.13
自宅に心地のいい居場所	0.35	行政は真剣に考えている	0.42	空気や水はきれい	0.32
【逆】騒音に悩まされている	0.10	公共施設は使い勝手良	0.38	リサイクル等環境への取組良	0.22
適度な費用で住居を確保	0.26	行政サービスのデジタル化良	0.29	防災対策がしっかり	0.31
公共交通の移動良	0.22	仕事や日常でデジタル	0.34	防犯対策・治安が良	0.30
娯楽施設がある	0.31	雰囲気自分にとって心地よい	0.56	歩道や信号が整備	0.28

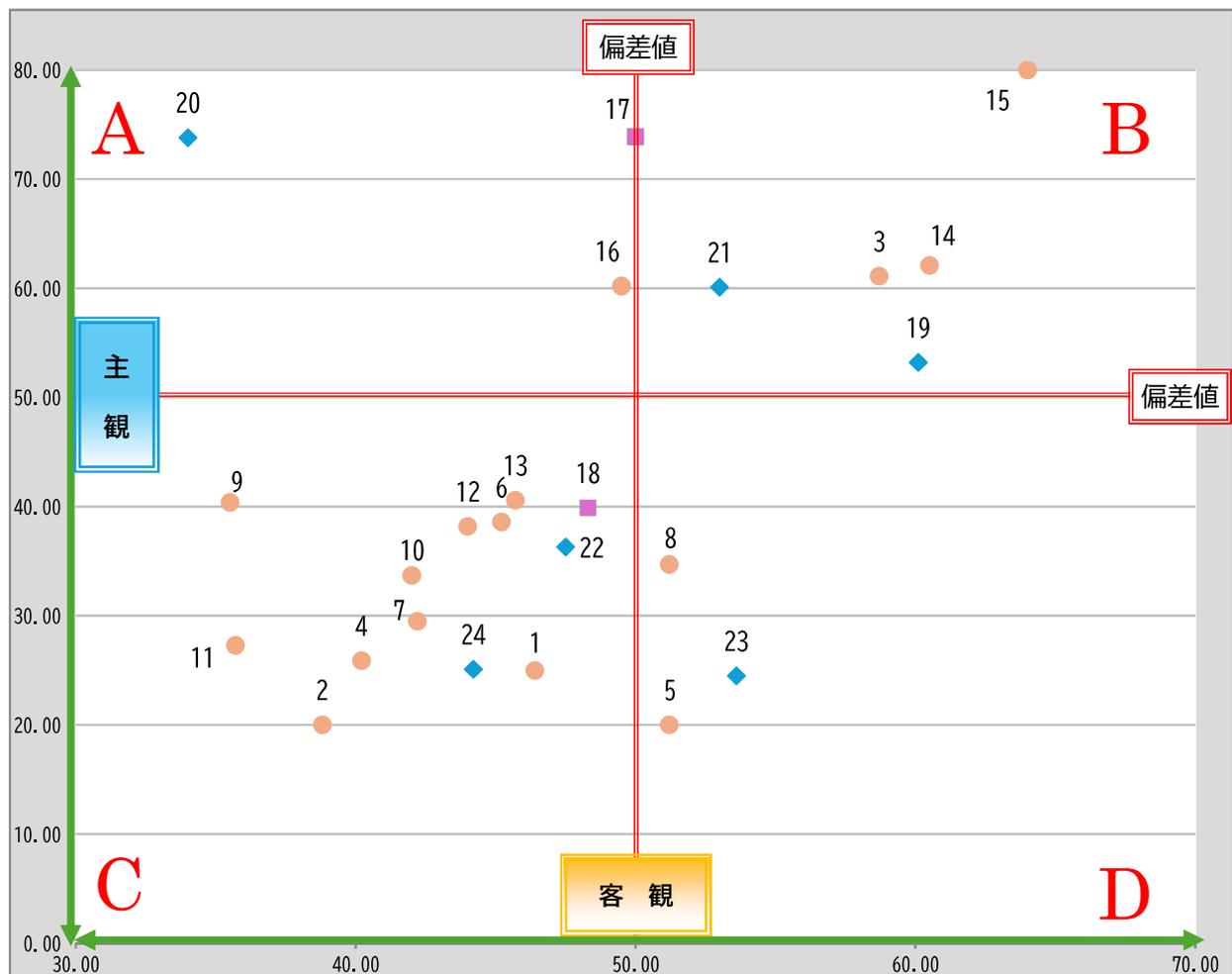
## 地域の人間関係

同じ町内の人を信頼	0.41	町内に対して愛着	0.47	女性が活躍しやすい	0.40
コミュニティ活動盛ん	0.34	町内どんな人の意見も受入	0.45	若い人が活躍しやすい	0.36
相談できる人が身近	0.40	見知らぬ他者も信頼	0.33		
町内の人を手助け	0.32	人が自分をどう思うか気に	0.19		

## 自分らしい生き方

自分のこと好ましく	0.32	文化等が盛んで誇らしい	0.39	やりたい仕事	0.42
身体的に健康	0.24	将来のため良い文化等を残し・・・	0.21	収入機会	0.39
精神的に健康	0.31	学べる機会	0.38	挑戦・成長	0.42

### (3) 主観・客観散布図



【出典】2025年版（令和7年度番）Well-Being 個別調査

#### 1 生活環境

- 1 ● 医療・福祉
- 2 ● 買物・飲食
- 3 ● 住宅環境
- 4 ● 移動・交通
- 5 ● 遊び・娯楽
- 6 ● 子育て
- 7 ● 初等・中等教育
- 8 ● 地域行政

- 9 ● デジタル生活
- 10 ● 公共空間
- 11 ● 都市景観
- 12 ● 事故・犯罪
- 13 ● 自然景観
- 14 ● 自然の恵み
- 15 ● 環境共生
- 16 ● 自然災害

#### 2 地域の人間関係

- 17 ■ 地域とのつながり
- 18 ■ 多様性と寛容性

#### 3 自分らしい生き方

- 19 ◆ 自己効力感
- 20 ◆ 健康状態
- 21 ◆ 文化・芸術
- 22 ◆ 教育機会の豊かさ
- 23 ◆ 雇用・所得
- 24 ◆ 事業創造

象限	主観・客観	指標の因子群
A 高主観・低客観	環境は整っていないが、 市民は満足している	16 自然災害/20 健康状態
B 高主観・高客観	環境も整っていて 市民も満足している	3 住宅環境/14 自然の恵み/15 環境共生/17 地域との つながり/19 自己効力感/21 文化芸術
C 低主観・低客観	環境も整っておらず、 市民も不満足	1 医療・福祉/2 買い物・飲食/4 移動・交通/ 6 子育て/7 初等・中等教育/9 デジタル生活/10 公 共空間/11 都市景観/12 事故・犯罪/13 自然景観/18 多様性と寛容性/22 教育機会の豊かさ/24 事業創造
D 低主観・高客観	環境は整っているが、 市民は満足していない	5 遊び・娯楽/8 地域行政/23 雇用・所得

#### (4) 主観データ分析結果一覧

指標	回答割合	幸福度との 相関係数	生活満足度との 相関係数	偏差値	偏差値 (全体)
暮らしている地域は、医療 機関が充実している	25.3%	0.16	0.37	20.0	25.0
私の暮らしている地域で は、介護・福祉施設のサービ スが受けやすい	26.3%	0.22	0.35	33.9	
暮らしている地域は、日常 の買い物にまったく不便が ない	31.0%	0.16	0.36	20.0	20.0
私の暮らしている地域で は、飲食を楽しめる場所が 充実している	14.4%	0.18	0.35	20.0	
自宅には、心地のいい居場 所がある	71.5%	0.46	0.35	75.0	61.1
自宅の近辺では、騒音に悩 まされている	19.5%	0.14	0.10	61.3	
私の暮らしている地域で は、適度な費用で住居を確 保できる	27.7%	0.24	0.26	46.5	
私の暮らしている地域で は、公共交通機関で、好きな 時に好きなところへ移動が できる	7.7%	0.07	0.22	25.9	25.9

指標	回答割合	幸福度との 相関係数	生活満足度との 相関係数	偏差値	偏差値 (全体)
私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる 娯楽施設がある	5.5%	0.19	0.31	20.0	20.0
私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	19.1%	0.17	0.22	42.2	38.6
私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる	25.6%	0.21	0.30	35.0	
私の暮らしている地域では、教育環境(小中高校)が整っている	33.4%	0.16	0.26	27.7	29.5
私の暮らしている地域では、通学しやすい場所に学校がある	37.2%	0.13	0.21	31.1	
暮らしている地域の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う	21.5%	0.28	0.42	36.2	34.7
暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	16.8%	0.19	0.38	33.4	
私の暮らしている地域では、行政サービスのデジタル化が進んでいる	21.3%	0.19	0.29	44.0	40.4
私の暮らしている地域では、仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい	14.9%	0.22	0.34	37.1	
暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい	49.8%	0.40	0.56	47.8	33.7
私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	32.5%	0.21	0.33	20.0	
私の暮らしている地域には、自慢できる都市景観がある	13.0%	0.21	0.33	27.3	27.3

指標	回答割合	幸福度との 相関係数	生活満足度との 相関係数	偏差値	偏差値 (全体)
私の暮らしている地域は、防犯対策(交番・街燈・防犯カメラ・住民の見守り等)が整っており、治安がよい	24.0%	0.17	0.30	37.5	38.2
私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	31.2%	0.16	0.28	38.7	
私の暮らしている地域には、自慢できる自然景観がある	31.3%	0.23	0.30	40.6	40.6
暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	65.8%	0.17	0.13	63.1	62.1
暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	60.3%	0.26	0.32	61.2	
私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである	67.4%	0.17	0.22	80.0	80.0
私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている	33.8%	0.23	0.31	60.2	60.2
私は、同じ町内(集落)に住む人たちを信頼している	45.5%	0.29	0.41	71.9	73.9
私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである	28.3%	0.24	0.34	57.5	
暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	33.8%	0.32	0.40	77.2	
私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする	52.9%	0.31	0.32	80.0	
私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている	44.5%	0.30	0.47	66.4	

指標	回答割合	幸福度との 相関係数	生活満足度との 相関係数	偏差値	偏差値 (全 体)
この町内（集落）には、 どんな人の意見でも受 け入れる雰囲気がある	17.6%	0.28	0.45	52.6	39.9
私は、見知らぬ他者であ っても信頼する	8.6%	0.18	0.33	37.6	
私は、町内（集落）の人 が自分をどう思ってい るかが気になる	11.8%	0.08	0.19	43.9	
私の暮らしている地域 には、女性が活躍しやす い雰囲気がある	10.3%	0.21	0.40	40.6	
私の暮らしている地域 には、若者が活躍しやす い雰囲気がある	8.1%	0.18	0.36	26.5	
自分のことを好ましく 感じる	25.1%	0.37	0.32	53.2	53.2
私は、精神的に健康な状 態である	56.6%	0.48	0.31	75.0	73.8
私は、身体的に健康な状 態である	52.2%	0.36	0.24	72.8	
暮らしている地域は、文 化・芸術・芸能が盛んで 誇らしい	13.2%	0.28	0.39	37.6	60.1
将来生まれてくる世代 のために、良い環境や文 化を残したい	65.8%	0.25	0.21	80.0	
私の暮らしている地域 では、学びたいことを学 べる機会がある	18.9%	0.28	0.38	36.3	36.3
私の暮らしている地域 では、やりたい仕事を見 つけやすい	5.3%	0.31	0.42	24.5	24.5
私の暮らしている地域 では、適切な収入を得る ための機会がある	8.4%	0.30	0.39	24.5	

指標	回答割合	幸福度との 相関係数	生活満足度との 相関係数	偏差値	偏差値 (全 体)
暮らしている地域には、 新たな事に挑戦・成長す るための機会がある	7.5%	0.31	0.42	25.1	25.1

